

一人一台端末を文房具の1つとして利用し、 仲間の考え方の共通点・相違点に着目する学習

第6学年

分数と整数のかけ算・わり算

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 既習内容を振り返りながら、自分の考えをもつことができました。(ノートデータ保存)
- 必要に応じて、「資料置場」から学習のヒントを得ることができました。(自己調整)
- 一覧で表示された仲間の考え方と自分の考え方を比較しながら考察することができました。

大型提示装置とタブレット端末による効果

導入で問題と数直線図を拡大提示し、
分数と整数でも除法が成り立つことを
学級全体で確認する。

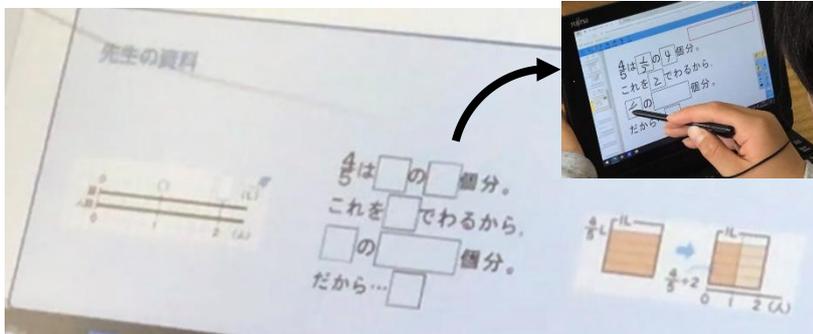
- ・問題と数直線図を同時に提示し、問題文中の数値と数直線図の数値を対応させて、正しく整理できるようにする。
- ・数直線図を立式の根拠として活用する。



教師の指導のポイント

- 学習内容の全体像が捉えられるように、問題や数直線図は、板書にも位置付ける。
- 数直線図に整理するだけでなく、数直線図に矢印を書き込みながら、立式の根拠を明確にする。

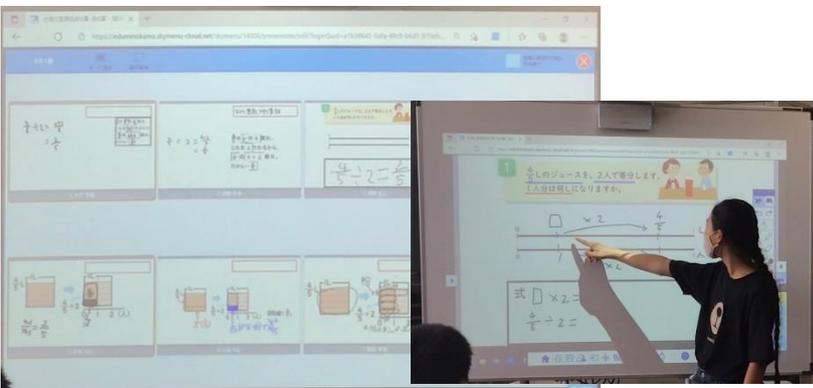
協働学習支援ツールの活用による効果



主体的に課題に取り組めるように、
「資料置場」にヒントカードを用意し、
必要に応じて利用できるようにする。

- ・ヒントカードを事前に準備し、協働学習支援ツールの「資料置場」に保存する。
- ・ヒントカードはあくまで補助的な資料であり、全ての児童が利用するものではないことを日常的に指導する。

協働学習支援ツールを用いて、
自分の考えを説明したり、
学級全体の考え方を整理したりする。



- ・タブレット上のノートで既習内容を振り返りながら自分の考えをまとめる。
- ・一覧表示機能を活用し、共通点・相違点に着目させ、式でも図でも解決できることや、単位分数のいくつ分で考えていることが共通していることに気付くことができるようにする。

教師の指導のポイント

- 事前に「資料置場」にヒントカードを用意し、必要に応じて活用できる(自己調整できる)ようにする。
- 学級全員の考え方を一覧表示し、「〇〇さんと似ている考え方はどれですか？」などと、共通点・相違点に着目できるように発問をする。